

とうきょう すくわくプログラム実践報告書

所在	府中市小柳町 2-11-TENS BUILDING3F
園名	ソラスト府中保育園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

食育

<テーマの設定理由>

近隣地域の方に畑をお借りして毎年さつまいもや野菜の栽培を行っている。野菜やさつまいもを栽培、育成、収穫、食べるまでを経験し、食への興味、関心を高めていく。また毎月栄養士による食育活動を行い、様々な野菜に触れ興味関心を持てるように取り組んでいる。子供たちは食育活動に楽しんで参加し、食べ物に興味を持ち、食べるのが楽しいと思えるような経験につなげている。

2. 活動スケジュール

10月28日（火）10：00～

- ・畑に行く前に持ち物（長靴・軍手）の点検
- ・長靴をビニール袋に入れる
- ・保育者はスコップ・段ボール・長靴・軍手の準備
- ・畑の畝にグループごと入りお芋ほりを行う。
- ・おいもは段ボールに入れて保育者が持ち帰った
- ・園に戻り各自さつまいもをビニール袋に入れて持ち帰った

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

軍手・長靴・スコップ・ビニール袋・さつまいもを入れる段ボール箱・持ち帰り用ビニール袋

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

長靴を履いて、一人一人スコップを持ちグループごとに畝に並んでお芋ほりを行った。おいもは段ボールに入れ、持ち帰った。
園ではみんなで掘ったおいもを見て大きさ比べをしたり感想を言い合った。その後は好きなおいもをビニールに入れて各自持ち帰った。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

おいもほり

5月の苗植えからお芋ほりを楽しみにしていた。畑に着くと長靴を履いてスコップを持ち、畝に並んでお芋ほりを行った。なかなか深く掘れず先生に助けを求める子もいたが、みんな一生懸命スコップで土を掘り、おいもを掘り上げた時は「大きなおいもほれたよ」「わたしも大きいよ」「先生見てみて」とあっちこちから歓声が響いた。おいもはビニール袋に入れて全員持ち帰った。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

図鑑でさつまいもの成長を見てみんなで話し合ったり、散歩の途中で時々観察にいたりし成長を楽しみにしていた。苗が大きくなるにつれて、つるがとても長く伸びてびっくりしていた。夏の水やりは一人1本のペットボトルを持って水やりに行った。また草取りをしたり収穫までに多くの作業があることを知ることができた。苗植えから収穫までたくさんのことを学び子供にとって経験は大切だと実感した。